

「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-ア	沖縄らしい風景づくり		
施策	①良好な景観創出のための仕組みづくり			
(施策の小項目)	○景観資源を活かした農地・農村の整備			
主な取組	村づくり交付金	実施計画 記載頁	70	
対応する 主な課題	○各地域が有する自然、歴史、風土等を生かした沖縄らしい良好な景観の形成に向けては、市町村や地域住民が方向性を共有し、主体的に参画できる仕組みの構築が不可欠である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	農業生産基盤の整備と農村生活環境の整備を総合的に実施することで、持続的な農業の展開を図るとともに、地域の想像力を生かした個性的で魅力ある村づくりを推進し、もって沖縄らしい風景作りに寄与する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	兼城地区 他				→	→	県 市町村
	自然環境・生態系保全施設の整備						
担当部課	農林水産部農地農村整備課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成27年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
村づくり交付金事業費	1,083,645 (529,645) 市町村	913,459 (529,645) 市町村	兼城地区他13地区において、農業生産基盤とともに自然環境・生態系保全施設等の整備を行った。	一括交付金 (ハード)
活動指標名			計画値	実績値
自然環境・生態系保全施設の整備地区数			—	14地区
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成27年度取組の効果			
順調	兼城地区他13地区において、農業生産基盤とともに自然環境・生態系保全施設等を整備することにより、農業・農村がもつ多面的機能が発揮され、農業生産基盤と農村生活環境の改善・向上が図られた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成28年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
村づくり交付金事業費	575,487 (145,486) 市町村	兼城地区他8地区において、農業生産基盤とともに自然環境・生態系保全施設等の整備を行う。	一括交付金 (ハード)

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成27年度の取組改善案	反映状況
①円滑な取組に向けて、担当者会議を開催する等、地元市町村や県の関係課と連携するとともに、当該年度の工事施工予定箇所について計画策定段階及び前年度中に受益農家等との調整を行い、工事予定箇所の早期確定を行う。	①関係市町村とのヒアリングを年4回実施することにより執行状況や課題等の把握を行った結果、当該年度及び次年度予定箇所の円滑な事業執行のために支援、指導することができた。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
事業実施地区数	15地区 (25年)	14地区 (26年)	14地区 (27年)	→	—
状況説明	平成27年度では5地区が完了し、農業生産基盤とともに自然環境・生態系保全施設が整備されており、農業・農村がもつ多面的機能が発揮され、一定の成果が見られる。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な事業推進のため、工事実施予定箇所の課題(作物の作付けまたは収穫時期の調整、用地買収に係る権利関係の確認等)の事前整理を行う必要がある。 <p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該年度施工箇所に係る調整(受益農家との作付け又は収穫時期、用地買収に係る権利関係の確認等)が必要になる。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地元市町村、関係課との連携を強化し、円滑な事業執行のため、工事施工予定箇所の早期確定を行う必要がある。 ・円滑な事業執行のため、受益農家との最終調整や権利関係の確認を行い、工事予定箇所を速やかに確定する必要がある。
--

4 取組の改善案(Action)

<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な事業執行に向けて、担当者とのヒアリングを定期的開催する等、地元市町村等関係機関と連携するとともに、事前に受益農家等との調整を行い、工事予定箇所の早期確定を行う。
--

「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-ア	沖縄らしい風景づくり
施策	①良好な景観創出のための仕組みづくり	
(施策の小項目)	○景観資源を活かした農地・農村の整備	
主な取組	団体営中山間地域総合整備事業	実施計画 記載頁 70
対応する 主な課題	○各地域が有する自然、歴史、風土等を生かした沖縄らしい良好な景観の形成に向けては、市町村や地域住民が方向性を共有し、主体的に参画できる仕組みの構築が不可欠である。	

1 取組の概要(Plan)

取組内容	農業の生産条件等が不利な中山間地域の実情を踏まえ、中山間地域の活性化に意欲のある地域を対象として、それぞれの地域の立地条件に沿った農業・農村の展開方向を探り、農業生産基盤の整備を効率的に行う。 また、農村生活環境等の整備を併せて総合的に行うことにより、農業・農村の活性化を図り、地域における定住の促進、都市との共通社会基盤の形成及び国土・環境の保全等に寄与する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	西表西部 地区他				→	→	県 市町村
	生態系保全施設の整備						
担当部課	農林水産部農地農村整備課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成27年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
団体営中山間地域総合整備事業費	4,338 (4,338)	4,338 (4,338)	久米島町比屋定・大岳地区において9号農道80mの整備を行った。	一括交付金 (ハード)
活動指標名			計画値	実績値
生態系保全施設の整備地区数			—	1地区
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成27年度取組の効果			
順調	久米島町比屋定・大岳地区において、農業生産活動や地域住民の日常生活に寄与する必要性の高い路線(久米島町比屋定・大岳地区9号農道)について整備を行うことで、農業の効率化、農産物の荷傷み防止、農業車両・一般車両の安全走行が図られた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成28年度計画				
事業名	当初予算	活動内容	主な財源	
—	—	これまで実施してきた地区の事業計画で設定された目標について、達成状況を検証するためにも達成状況報告書を提出してもらおうとともに、地元市町村や県の関係課と連携し、事業完了地区の状況を管理する。	—	

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成27年度の取組改善案	反映状況
<p>①地元市町村や出先事務所など県の関係課と担当者会議等を行うことで、市町村の担当職員に対して事業の有用性について周知徹底を図る。</p> <p>②事業計画の策定に向けて市町村に対しヒアリング等を実施することにより、合意形成が十分に図られた事業計画を策定するよう指導し、新規着工地区を計画的に取り込み、事業促進を図る。</p> <p>③これまでに挙げた問題点や改善点を県の関係課と共有し、新規着工地区の計画に活かす。</p>	<p>①現在のところ、新規採択予定地区は無い。引き続き、地元市町村や出先事務所など県の関係課と担当者会議等を行うことで、市町村の担当職員に対して事業の有用性について周知徹底を図る必要がある。</p> <p>②事業計画の策定に向けて市町村に対しヒアリング等を実施することにより、合意形成が十分に図られた事業計画を策定するよう指導し、新規着工地区を計画的に取り込み、事業促進を図る必要がある。</p>

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
事業実施地区数	4地区 (25年度)	3地区 (26年度)	1地区 (27年度)	→	—
状況説明	平成25年度4地区、平成26年度3地区、平成27年度1地区実施しており、市町村要望に対して整備を行い要望を満たしている状況である。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで実施してきた地区の事業計画が定める事業の目標について、達成状況を検証するためにも達成状況報告書を提出してもらう必要がある。 ・達成状況報告書を滞りなく提出してもらうためにも、地元市町村や県の関係課と連携し、資料の整理を行う必要がある。 <p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・—

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、これまで市町村要望に対して整備を行い要望を満たしている状況である。これまで実施してきた地区の事業計画が定める事業の目標について、達成状況を検証するためにも達成状況報告書を提出してもらい、地元市町村や県の関係課と連携し、事業完了地区の状況を管理する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、これまで市町村要望に対して整備を行い要望を満たしている状況である。これまで実施してきた地区の事業計画で設定された目標について、達成状況を検証するためにも達成状況報告書を提出してもらうとともに、地元市町村等関係機関と連携し、事業完了地区の状況を管理する。
--

「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-イ	花と緑あふれる県土の形成		
施策	②都市、道路、郊外及び農山村の緑化			
(施策の小項目)	○郊外及び農山村等の緑化			
主な取組	県民の森の管理事業費	実施計画 記載頁	73	
対応する 主な課題	○郊外部では、良好な自然環境、営農環境と調和を図りながら集落景観の保全など魅力的な田園農住地域の整備を行う必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	森林・林業の役割について自然とのふれあいを通して普及啓発を図るとともに、森林レクリエーションの場を通して次代を担う青少年の健全な育成と県民の健康増進を図るため、県民の森公園内の緑化等の施設整備及び維持管理を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	県民の森の施設の整備、維持管理、利用促進					→	県
担当部課	農林水産部森林管理課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成27年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
県民の森管理事業費	1,309	1,121	県民の森公園内の緑化活動(クメノサクラ、ハナミズキの育樹等)及び利用拡大を目的にイベント(山の日イベント)を実施するとともに、施設の適切な管理を行った。また、指定管理者による自主事業(ネイチャーゲーム体験、自然観察会、雑貨市等)を行った。	県単等
活動指標名			計画値	実績値
—			—	—
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成27年度取組の効果			
順調	緑化活動(クメノサクラ、ハナミズキの育樹等)やイベント(山の日イベント)の実施、指定管理者による自主事業(ネイチャーゲーム体験、自然観察会、雑貨市等)を行ったことにより、県民の森の利用者数が増加した(H22～H24:50万人⇒H25～H27:55万人)。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成28年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
県民の森管理事業費	3,389	県民の森公園内の緑化活動(クメノサクラの育樹等)及び利用者拡大に向けてイベント(山の日イベント等)を実施するとともに、指定管理者による自主事業(ネイチャーゲーム体験、自然観察会、雑貨市等)を実施する。 また、施設の適切な管理を行うとともに、施設のリニューアルに向け基本構想に係る検討を行う。	県単等

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成27年度の取組改善案	反映状況
<p>①指定管理者の新たな自主事業(ネイチャーゲーム体験、自然観察会、雑貨市等)等による森林レクリエーションや木育等を実施し、利用者数の増加を目指す。</p> <p>②利用者の安全を確保するため、消防計画の作成、防火管理者の選任、AED等の設置を行い、施設の維持管理体制を強化する。</p>	<p>①指定管理者の新たな自主事業等による森林レクリエーションや木育等を予定通り実施し、利用者数も増加した(H26年度174,814人、H27年度200,557人)。</p> <p>②防火管理者を選任し、防火管理責任者届及び消防計画を作成し、消防署へ提出した。今年度末に防災点検を実施した。また、今年度は、熱中症対策等のためエアコンの更新を優先することとなったため、AEDについては、平成28年度に設置する。</p>

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
県民の森公園の利用者数	178,480人 (25年度)	174,814人 (26年度)	200,557人 (27年度)	↗	—
状況説明	県民の森公園の利用促進のための緑化活動、イベントの実施、指定管理者による防災点検及び自主事業を実施したことにより利用者が増加した。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑化活動やイベントの実施等により利用者数が増加していることから、利用者の安全を確保するため老朽化した施設のリニューアルを行う必要がある。 <p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設のリニューアルに向け、利用者のニーズを把握した上で基本構想に係る検討を行う必要がある。 ・外国人観光客の利用が増加しており、多言語案内板等の設置が必要である。
--

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の自主事業を充実させ利用者数の増加を図る必要がある。 ・アンケート等により利用者のニーズを的確に把握した上で、施設のリニューアルに向けた基本構想に係る検討を行う必要がある。 ・多言語案内板等を設置する必要がある。
--

4 取組の改善案(Action)

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、緑化活動やイベントの実施等による利用者数の増加を図るとともに、指定管理者の自主事業を充実させる。 ・アンケート調査等を強化し利用者のニーズを的確に把握した上で、老朽化した施設のリニューアルに向けた基本構想に係る検討を行う。 ・外国人観光客の利用増加に伴い、多言語案内板等を設置する。
